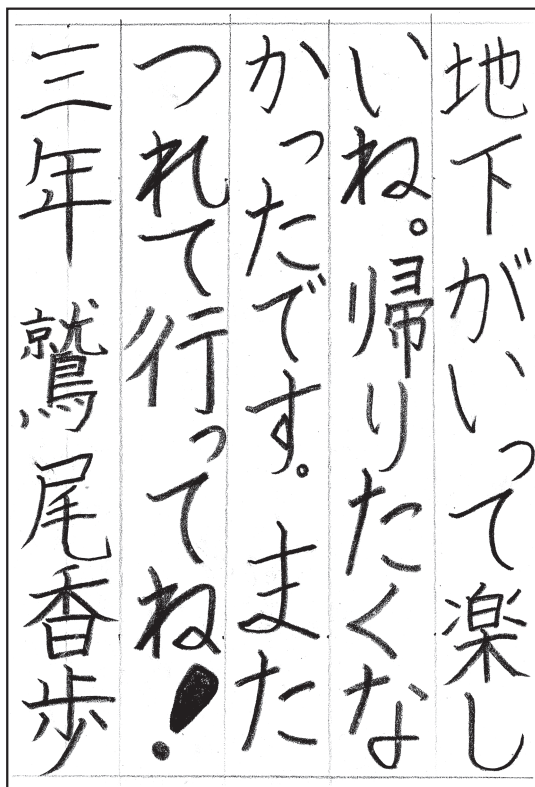




はがきでペン優秀作品

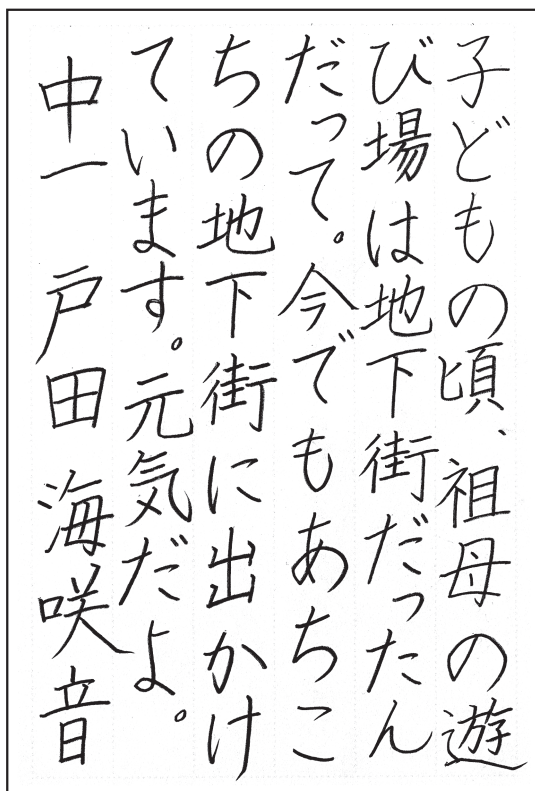


小4 鷺尾香歩

まさにどうとうとした作品。字の形もきれい。

佳作以上に「書作名人筆」さしあげます

審査担当 金子榮風先生



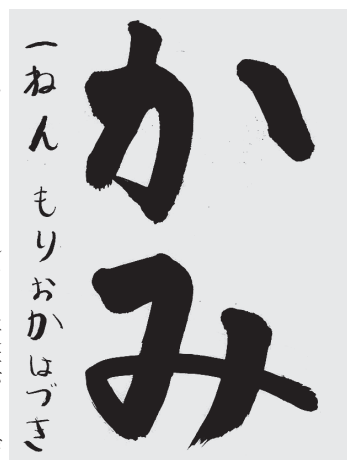
中1 戸田海咲音

全ての文字が美しく並び、行もうまく整った。



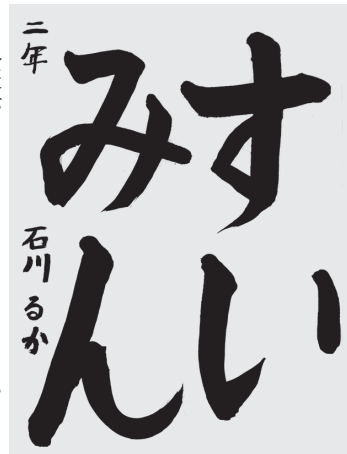
鈴木蒼真 幼年 5級

しせい、かまきがよく、おおきなうごきですばらしい「かみ」になりました。このちょうしでたのしくじをかきましよう。



森岡葉月 小1 6級

まん中にとでもきれいな二文字がならびました。ハネやハライがていねいで、「み」のむずかしいところもうまくかけました。



石川瑠花 小2 5級

全体がうつくしくまとまっている。キリッとした直線がきいていて、ふでづかいもうまく、字のかたちがつとのつっている。



岡田美佳 小3 3級

一本ずつの線のゆるぎない強さにおどろかされる。線の長さや場所が正しいので、文字のバランスがきちんととれている。



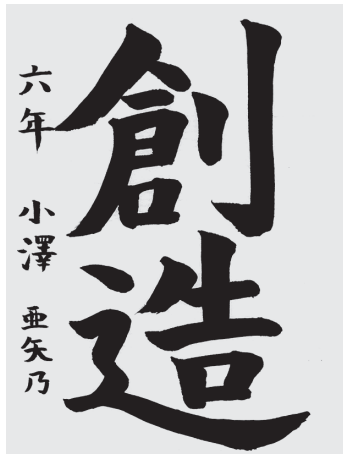
福田和花奈 小4 準4

左右のハライの大きさや角度、線の太細の差などをしっかりと考えながらも、のびのびと大きく書き、線がとても美しい。



西村愛菜 小5 準4

太く強い線を中心に四文字のバランスをうまく整えた。特にオレの後の堂々とした線が文字に安定感を生み出している。



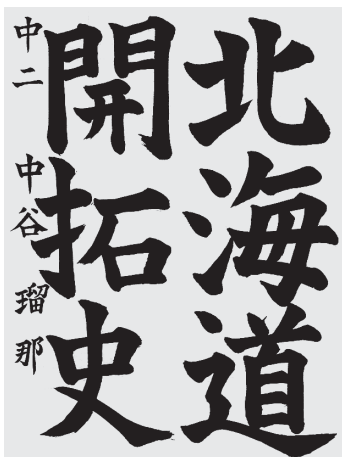
小澤亜矢乃 小6 3段

細かい気配りが見え、リットウやシンニョウが特に素晴らしい。文字の美しさを観る人に感じさせ、優しい印象を与える。



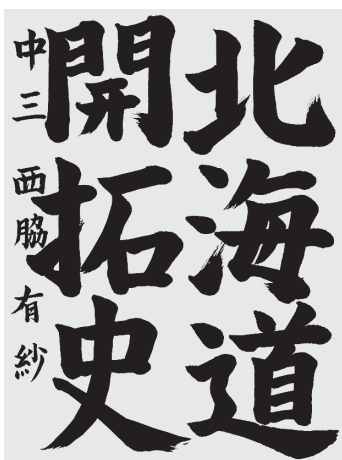
富田珠心 中1 3段

これだけ大きな動きと太く強い線で書いたのにバランスが良い。短い線や細い線を使って文字の中に作った余白がきれい。



中谷瑠那 中2 準6

細い線を多く使って全体が明るい作品になった。楷書のリズムを小気味よく刻み、観ていて気持ちがいい。「海」素敵です。



西脇有紗 中3 準7

「北海道開拓史」という言葉にふさわしい堂々とした作品。一文字ずつの美しい形を理解した上で強い線を中心に書けた。

二月十五日締め切り

最優秀作品

金子高遠選評

